

クローズアップ

平成22年度介護保険の利用状況

介護保険制度は、社会全体で介護を支える仕組みとして平成12年度にスタートしました。18年度に大幅な制度改正が行われ、要介護・要支援認定の見直しや介護予防事業、地域包括支援センター事業などが創設され、予防重視型システムへの転換が図られました。今月は、22年度の介護保険の利用状況をお知らせします。

要介護(要支援)認定率は12.7% 21年度比27.8人増

要介護度別の各サービス利用者数は、認定を受けている方4千603人(23年3月末現在)のうち、居宅サービス利用者は2千558人、地域密着型サービス市民を利用対象としたサービス利用者は

115人、施設サービス利用者は766人で、全体では3千439人(認定者中74.7%)の方が介護保険サービスを利用しています。介護サービスを利用すると、利用料の9割相当が介護保険から給付されます。22年度の総額は、グラフィのとおりに、約61億4千万円で、前年度と

比べると約3億9千7百万円の増となりました。この財源は、40歳以上の方の保険料と国・県・市の公費でまかなわれています。なお、このうち、第1号被保険者(65歳以上)の保険料が全体の24.5%、第2号被保険者(40歳~64歳)が30%を占めています。

●西口駅前市民広場にデザイン時計を設置

狭山市駅西口の市民広場にデザイン時計が設置され、9月30日から稼動しています。

これは、シチズン時計㈱から寄贈されたもので、七夕の天の川やおり姫・ひこ星をイメージし、スカイテラスなど3方向から時計を見ることができます。

問合せ西口開発事務所へ 2955 0023



●屋内消火栓操法大会を開催

10月13日、消防本部で自衛消防隊屋内消火栓操法大会が開かれ、市内事業所の代表33チームの参加がありました。



優勝 男子/㈱ロッチ 狭山工場 女子/大日本印刷㈱狭山工場
問合せ消防本部予防課へ 2953 7113

●ご声援ありがとうございました

10月22日から京セラドーム大阪で開催された都市対抗野球大会に、狭山市ホンダが出場しました。選手の皆さんは、走・攻・守に全力を尽くし戦いましたが、惜しくも初戦敗退となりました。皆様のご声援ありがとうございました。問合せスポーツ振興課へ内線5712



三菱重工広島と対戦。延長11回、4対7で惜敗

市長随想 嬪



狭山市長 仲川幸成
似顔絵・花倉正喜氏

特産狭山茶と放射性セシウム

本市の農産物でも、放射性物質の検査が行われました。お茶の一部からは、暫定規制値を上回る放射性セシウムが検出され、市民や業界に強い衝撃を与えることとなりました。

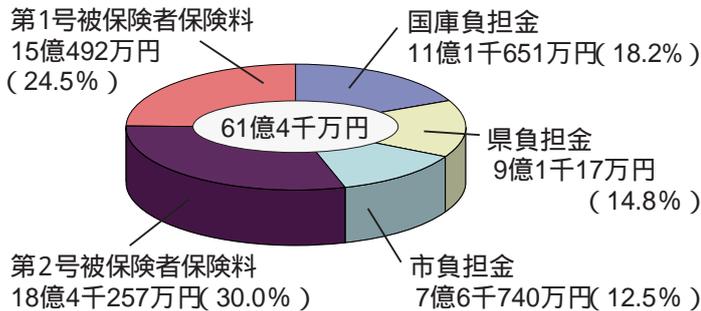
食品の放射性物質の規制値が定められているEUやアメリカでは、野菜で1千200~1千250ベクレル、乾燥物で2千~2千500ベクレルであるのに対し、日本では、こうした規制値が設けられておらず、暫定規制値としての500ベクレルだけであり、政府には製茶に対する規制値の科学的根拠を示していただくとともに、関係者への賠償など、一刻も早い対応を望むものです。

震災以降、茶の売り上げは風評被害もあり、激減している中、これからお歳暮の贈答用としての需要期を迎えますが、果たしてどれだけ消費者の理解が得られるか心配です。業界は、今回の事故で、倒産、廃業、資金繰りの

介護サービスの種類別利用状況

サービス種類名	給付費	前年度比 (%)
居宅サ - ビス	29億7,778万3,316円	7.7
訪問介護	4億4,041万5,287円	7.1
訪問入浴介護	3,153万3,207円	8.3
訪問看護	1億5,668万2,133円	8.3
訪問リハビリ	297万2,195円	26.5
通所介護	9億6,535万7,091円	6.2
通所リハビリ	2億8,262万8,160円	11.8
福祉用具貸与	1億6,581万6,568円	4.3
短期入所生活介護	3億2,547万5,161円	12.1
短期入所療養介護 (老健)	2,892万3,012円	2.7
短期入所療養介護 (療養型)	3万3,543円	81.6
居宅療養管理指導	2,225万3,940円	5.4
特定施設入居者生活介護	1億6,838万9,534円	13.8
特定福祉用具販売	1,296万905円	28.0
居宅介護住宅改修費	4,219万8,664円	3.9
居宅介護支援・介護予防支援	3億3,214万3,916円	6.9
地域密着型サービス	3億1,423万3,815円	0.0
認知症対応型通所介護	2,586万2,900円	28.9
認知症対応型共同生活介護	2億31万7,236円	4.5
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	8,805万3,679円	2.1
施設サービス	24億7,215万9,346円	5.6
介護老人福祉施設	12億1,330万8,023円	2.0
介護老人保健施設	8億6,195万1,039円	14.7
介護療養型医療施設	3億9,690万284円	13.3
計 (+ +)	57億6,417万6,477円	6.4
審査支払手数料	903万9,560円	6.9
高額介護サ - ビス等費	1億91万4,737円	13.3
高額医療合算介護サービス等費	2,695万6,865円	-
特定入所者介護サービス等費	2億4,129万9,380円	5.4
保険給付費 + + +	61億4,238万7,019円	6.9

介護保険給付費の財源内訳 (グラフ1)



要介護度別の要介護・要支援認定者数

区分	要支援		要介護					計 (人)
	1	2	1	2	3	4	5	
第1号被保険者	437	478	1,054	793	656	551	434	4,403
65~75歳未満	62	71	167	133	85	81	76	675
75歳以上	375	407	887	660	571	470	358	3,728
第2号被保険者	15	17	52	31	35	24	26	200
総数	452	495	1,106	824	691	575	460	4,603
構成比 (%)	9.8	10.8	24.0	17.9	15.0	12.5	10.0	100.0

(平成23年3月末現在)

要介護状態などになるおそれが高い65歳以上の方を対象に、狭山台地区と奥富地区2か所の会場で介護予防事業を行いました。各教室で、それぞれ運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能の向上を図るプログラムを、総合コースを週2回・2時間・3か月(23回)を1コースとして、24コース開催し、さらに栄養改善・口腔機能の向上を図るプログラムの、かむかむコースを週1回・2時間・3か月(10回)を1コースとして、16コース開催しま

通所型介護予防事業「元氣アップ教室・ちやきちやき倶楽部」

した。参加者は309名(総合221名、かむかむ88名)でした。

地域包括支援センターは高齢者の身近な相談窓口

地域包括支援センターは5つの日常生活圏域ごとに設置され、主任ケアマネジャーや保健師、社会福祉士などの専門職員が連携をとりながら、総合的に高齢者の皆さんの支援を行っています。

地域包括支援センターの業務高齢者の皆さんやご家族からの相談などに応じ、必要な支援を行います

要介護状態になるおそれの高い

お気軽にご相談を

高齢者や要介護認定で、要支援1、要支援2の認定を受けた方を対象に、一人ひとりの生活に合わせた介護予防ケアプランを作成します

高齢者に対する虐待防止への取り組みや成年後見制度の活用を支援し、高齢者の権利を守ります

市では、計画的な介護サービスの整備やサービスの質の向上に、層努めていきます。介護予防事業の内容、同センターの利用方法など、お気軽にご相談ください。問合せ介護保険課へ内線1551

市長の主な動き

- 10/1...市内幼稚園運動会
- 10/2-9...各地区体育祭
- 10/3...埼玉県市長会役員会
- 10/6-7...全国都市問題会議
- 10/9-23...各地区敬老会
- 10/12...労働福祉審議会、人間基地への要望活動、自治会連合会幹事との懇談会
- 10/13-27...定例庁議
- 10/14...埼玉県市長会定期総会・市長研修会
- 10/26...都市対抗野球大会・狭山市ホンダ応援
- 10/27...救援対策本部会議
- 10/27-31...辞令交付式



などの問題に直面し、未来への展望に大きな不安を抱えています。安全が確認された狭山茶を応援し、日本三大銘茶である狭山茶を守っていききたいものです。